



知つてゐるつもり (107)

学芸員 奥住 淳

◆ 青年学校と親閲拝受記念碑

青年学校

青年学校は、昭和10（1935）年に公布された青年学校令により、初等教育の補習と職業教育を行つていた実業補習学校と軍事教練を目的とした青年訓練所を統合する形で全国の市町村に置かれました。その目的は、尋常小学校を卒業した勤労青年に、心身の鍛練と職業教育を施すとともに兵役の予備訓練を行うことにありました。

青年学校の課程は、尋常小学校卒業者を対象とした普通課（二年）、普通課と高等小学校卒業者を対象とした本科（男五年、女三年）がありました。科目は、修身および公民科、普通学科、職業科、体操科、女子は家事裁縫科がありました。戦争が激しくなると軍事教育が中心となつて、昭和14年4月からは男子は義務制となり19歳まで青年学校で訓練を続け、20歳で兵役につくことになりました。その後、青年学校は、昭

和22年の新学制による中学校発足により廃止となりました。

親閲拝受記念碑

町域の千代田村では、昭和10年4月に千代田農業補習学校と千代田村青年訓練所が合併して千代田青年学校が開校し、千代田尋常高等小学校の校舎を使用しました。

また、二川村では、同年7月に二川村青年訓練所を廃止して、二川農業補習学校を二川青年学校と改称して開校し、二川尋常高等小学校の校舎を使用しました。役場庁舎脇の一角に「昭和十六年五月二十二日 御親閲拝受記念 二川青年学校」と刻まれた高さ90センチの石碑が建てられています。現在の役場は、戦前は二川尋常高等小学校（昭和16年4月より二川国民学校）のあった場所で、町消防団本部のところには二川青年学校が建っていました。青年学校の建物は、戦後には松尾高等学校二川分校の校舎や役場庁舎の一部として使

用されました。

青年学校生徒御親閲式

この記念碑に刻まれている昭和16年5月22日、青年訓練実施15周年を記念する青年学校生徒御親閲式が皇居で行われました。御親閲とは、国王や元首など地位や身分の高い人がみずから親しく検閲することです。この青年学校御親閲式では、天皇陛下が皇居の二重橋前広場に行幸され、全国の320万人の青年学校生徒から選ばれた3万4千人の男女代表が参列しました。千葉県からは、教職員127人、男子918人、女子225人の計1270人が選ばれ、21日に上京し、前日には予行に参加しました。当日の親閲式は午前10時に始まり、男子部隊の分列行進、女子部隊による奉唱歌の奉唱、軍楽隊の奉送で11時には終わりました。午

後は、靖国神社や明治神宮まで行進して参拝し帰郷しました。

二川青年学校では、校長も御親閲式に参列していて、これを記念して学校の敷地に石碑を建てたのです。



二川青年学校の親閲拝受記念碑



昭和30年7月 芝山町制施行記念写真（旧二川青年学校校舎前）



芝山中学校 <2学年主任> な かい ひろあき
中井 博明 先生

- Q ▶ 子どもの頃の思い出**
A ▶ 中学時代は、生徒会、学校行事、部活動などで、さまざまなリーダーに挑戦していました。
- Q ▶ 教員を目指したきっかけ**
A ▶ 人が変わろうとする、さらには成長していくその人自身の大切な瞬間をともに過ごすことができるこの仕事に魅力を感じたからです。
- Q ▶ 生徒たちの魅力**
A ▶ 芝山中は、2度目になりますが、素直さや前向きなところは以前とまったく変わらず、むしろパワーアップしています。
- Q ▶ 挑戦してみたいこと**
A ▶ フットワークの軽い、動ける40代を目指します。

好きな言葉

「思いの強さが自分を支える」

全ては思いを持つところから始まるし、しんどい時こそ、自分の思いの強さが問われると思うからです。



- ☆何事にも真剣な先生だよ！
- ☆バレーボールを教えてくれるよ。
- ☆面白い冗談を言ってくれるよ。
- ☆優しくして、フレンドリー！
- ☆涙もろい一面があるよ。

教頭先生EYE

芝山中学校に2回目の勤務となる中井博明先生。本年度、九十九里中学校から異動してきました。2学年主任として生徒の学校生活が豊かになるよう日々取り組んでいます。また、バレーボール部の顧問として情熱をもって生徒に接し、朝練習から子どもたちと一緒に汗を流し頑張っています。



次回は芝山小学校「石井香那子」先生が登場

5月4日 エアーフロント杯



芝山公園野球場へエアーフロント杯の応援に行ってきたよ。芝山リトルのみんなは野球がとっても上手で、かっこ良かったッコ！

5月5日 航空科学博物館



こどもの日に開催されたイベントに行ってきたよ。はくと同じ飛行機好きな子どもたちがいっぱい遊びに来ていたッコ！

